

吉野川市 議会だより

平成から令和へ・・・
時代を越えて 夢紡ぐまち よしのがわ



目次

議案の審議から	2
ここが聞きたい	6
代表質問	7
一般質問	10
議会のうごき	12
行政視察受入状況	13
審議結果	14
市議会のしくみ	15

❀ 吉野川市多目的グラウンド完成 ❀

(愛称：上桜スポーツグラウンド)

オープニングゲーム

川島高等学校 VS 阿波高等学校



審議から



3月議会では、専決3件、
条例案22件、予算案13件が提案され、
審議されました。

総務常任委員会

◇市長提出議案16件を審査

▼平成31年度吉野川市一般会計予算について

質問

公会計の委託費が計上されているが、委託せずに職員を育成して対応できないのか。

企画財政課長

職員では難しいと判断し、平成31年度はコンサルタント会社に委託する。今後、職員を育成して対応できるか研究したい。

質問

本市の市債は、平成31年度末に過去最大の268億2,538万1,000円となり、平成31年度の一般会計当初予算額234億5,590万円を上回る見込みである。

基金残高についても、平成29年度末に財政調整基金と減債基金を合わせて73億1,000万円あったが、平成31年度末には、両基金合わせて42億円の残高となる見込みである。

本市の予算に対する自主財源は34%で、約66%を国や県に依存している状況であり、平成31年度で地方交付税の算定替えも終わり、平成32年度からは約8億円の地方交付税が減額されるが、本市は将来を見据えた安定した財政運営ができるのか。

企画財政課長

平成29年度から平成31年度までの3年間を、合併まちづくりの最終仕上げ期間として都市再生整備事業などの大型建設事業を積極的に行った結果、一時的に起債の発行が増加し残高も増えている。起債残高は平成31年度末をピークに減少していく見込みだが、依然として厳しい状況は続く認識しており慎重に運営を行う。

基金残高については、起債と同じく集中投資期間における不足財源の補填のために取り崩しを行ったため減少しているが、健全な財政運営ができる規模を確保するよう努める。

質問

市債が過去最大の268億円余りになり、これに伴い償還金が一般会計を大きく圧迫する中、平成32年度以降も一定の基金が確保できるのか。

企画財政課長

一部事務組合の見直しとさらなる行財政改革の推進、事務事業評価の活用などにより真に必要な事業の取捨選択を行い、市民ニーズの確かな把握と財源の確保に努めたい。

なお、基金残高については、平成31年度当初予算編成後で42億円の見込みとなっているが、今後においても同程度の基金を確保する。

質問

公共施設等個別施設計画策定業務についての詳細は。

管財システム課長

過去に建設された公共施設等がこれから大量に更新時期を迎える。人口減少等により今後の公共施設の利用需要は変化していくと考えられ、施設全体の最適化を図る必要性があることから、個別施設を点検・診断することで各施設の状態を把握し、今後の維持管理・更新等に係る対策の優先順位、対策の内容や実施時期を定め、定期的な点検・診断により施設の状態を把握するとともに、計画的に修繕や改修を行い施設を長持ちさせるといった効果を期待している。

質問

新しいハザードマップの内容は。

防災対策課長

現在の市防災ハザードマップは、平成18年3月に作成したもので、水防法の改正に適切していないため、新しい基準に合わせて作成する。平成27年9月の関東・東北豪雨災害で多数の住民が取り残されたように、ハザードマップを配付していても活用されなかつたことを教訓に、災害発生前にしっかりと勉強する場面、災害時に緊急的に確認する場面を想定して作成する。

議案の



平成31年3月議会定例会

会期：平成31年2月25日～3月18日

作成後は全戸配付し、自主防災組織での研修や学校での防災教育の教材として活用し、防災意識の向上と災害時の適切な行動につながるよう役立てていく。

質問

固定資産税が前年度より増収の見込みであるが、その要因は。

税務課長

太陽光パネルなど、企業による設備投資が増えていることから、償却資産に課税される固定資産税が増収の見込みである。

質問

浄化槽汚泥等前処理施設建屋新築工事および浄化槽汚泥等前処理施設プラント建設工事などで総事業費が3,349万4,000円とのことであるが、総事業費に対してどの程度の削減効果を見込んでいるのか。

事業推進室長

削減効果については、2,000万円から3,000万円程度の削減を見込んでおり、加えて業者からの収入も見込んでいる。

▼吉野川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

質問

国民健康保険税の課税限度額が、58万円から61万円に引き上げられているが、今後も引き上げられる傾向にあるのか。

国保年金課長

額の引き上げについては、国の基準に合わせており、近年は上昇傾向にある。

◇以上異議なしで可と決定

産業建設常任委員会

◇市長提出議案10件を審査

▼吉野川市中小企業者等振興基金条例制定について

▼吉野川市中小企業者、小規模企業者及び小企業者の振興に関する基本条例制定について

質問

県内他市町村の基本条例および基金条例の制定状況は。また、基金の運用益と運用方法、使い道は。

商工観光課長

基本条例は徳島県および県内5市が既に制定しており、美馬市、阿波市が平成31年度に制定予定である。基金条例は徳島市のみが制定している。

基金の運用方法は、条例に基づき債券で運用する。現在の債券市場の状況では運用益の確保は極めて困難なため、現在別の基金で運用中の年利1.2%の国債を引き継ぎ、基金1億円で年間120万円を確保し、元金1億円は取り崩さず将来の財源として確保する方針である。基金の使い道は、120万円という規模のため、信用保証協会や金融機関を通じて保証金や借入金金の補填を行う間接的な支援とし、事業に必要な資金の調達コストを軽減することで、少ない財源で多くの中小企業者を支援できると考えている。

▼平成30年度吉野川市一般会計補正予算(第5号)について

質問

治山事業費において、事業が不採択になった要因は。

産業経済部次長

県単治山事業で、当初、山路岡原地区の治山事業を計画していたが、県の採択要件に合致しなかったため不採択となった。

◇以上異議なしで可と決定

審議から



3月議会では、専決3件、
条例案22件、予算案13件が提案され、
審議されました。

文教厚生常任委員会

◇市長提出議案13件を審査

▼吉野川市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について

質問

条例で定める貸付利率を、保証人を立てる場合は無利子、保証人を立てない場合は1.5%にした根拠は。

健康福祉部次長

東日本大震災時の特例による災害援護資金や福祉制度における生活福祉資金貸付金を参考に設定した。

▼吉野川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

質問

家庭的保育事業の詳細は。

こども未来課長

子ども子育て支援新制度の地域型保育給付の対象となるもので、地域に密着し、保育者の居宅などで行われる小規模の異年齢保育であり、0〜2歳児を対象としている。

▼吉野川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

質問

放課後児童クラブ支援員の確保のため、採用資格の基準を規制緩和することのことが、詳細は。

子育て支援課長

学童クラブに5年以上の勤務実績がある者と、教員免許の更新をしていない者も放課後児童支援員として採用可能となる。

▼平成31年度吉野川市一般会計予算について

質問

ピロリ菌の除菌費用について、医師会から全額補助の要望があるが、他市町村の状況も踏まえ、今後どのように考えているのか。

健康推進課長

本市では、検査事業を開始してまだ年数が浅く、受診率が低いことなどから、どの程度の感染者がいるかなどが検証されていない。県内また全国的にも実施している自治体が少ないことから、引き続き状況を確認しながら検討したい。

質問

とくしま在宅育児応援クーポン事業で利用できる子育て支援サービスは。

子育て支援課長

保護者が買い物や外出の際の一時的な子ども預かりや、インフルエンザの予防接種を考えている。

質問

プレミアム商品券は3歳未満の子をもつ世帯主が対象になるのか。また、基準日はあるのか。

健康福祉部次長

3歳未満の子が属する世帯の世帯主が対象となっている。また、2019年6月1日が基準日となっているが、6月2日以降に生まれた子ども対象とすることを国で議論していることから、2日以降に生まれた子ども対象となる可能性がある。

質問

生活保護費が昨年より増加している要因は。

健康福祉部次長

高齢世帯が増加する中で、入院者数が増え、高額な治療を行ったためである。

平成31年3月議会定例会

会期：平成31年2月25日～3月18日



議案の

質問

新鴨島図書館の新規購入分の本は、誰が選定するのか。

教育次長

指定管理者の決定後に指定管理者が提案し、市と協議して選定するとともに図書館運営委員会の中でも検討したい。

質問

新アリーナのトレーニング機器の購入について、委員会の視察先ではリースを導入しており、リースの方が随時新品に更新できるので有利であるという説明を受けたが、リースを検討しないのか。

教育次長

リースと購入の両面で検討しているが、メンテナンスさえしっかりしていれば購入の方が有利であるという提案を受けた。今後リースと比較しながら検討したい。

▼吉野川市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例制定について

質問

平成25年にいじめ防止対策推進法が制定されたが、この間にいじめがあった場合はどのように対処してきたのか。

学校教育課長

細かいいじめは多々あったが、いじめ問題専門委員会を開くような重大事案となるいじめはなかった。いじめ防止基本方針を改定し、いじめ問題対策連絡協議会を設置するため条例制定を提案した。

▼吉野川市多目的グラウンド条例制定について

質問

使用料金はどのように決め、どこを参考にしたのか。

教育次長

工事費やランニングコストから計算した金額と、隣の香川・愛媛・高知の同規模の人工芝グラウンドの使用料を参考にした。

▼吉野川市民プラザ条例制定について

質問

新アリーナ・市民センター・鴨島図書館の指定管理業務を一括で募集するのか。

教育次長

指定管理については、複合する施設全体の管理とし、共同企業体で応募していただくように考えている。

質問

管理について、運営委員会のような組織をつくるべきではないか。

教育次長

市民や有識者による運営委員会を組織し、協議を行う場を設ける予定である。

▼吉野川市公民館条例の一部を改正する条例制定について

質問

〇〇地区公民館の地区を除き、〇〇公民館に変更すると、現在ある公民館との違いはどのようになるのか。

また、現在の地区公民館と公民館の館長の報酬は異なるが、今後どうなるのか。

教育次長

公民館と地区公民館の区分の違いは残り、名称のみ地区を除く。公民館は各町に1か所、地区公民館は小学校区ごとに設置しており、公民館の館長は常勤で地区公民館の館長は非常勤であることから、館長の報酬については、業務量等を勘案しながら検討したい。

◇以上異議なしで可と決定

3月議会定例会では8名の議員が代表・一般質問を行いました。

●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

河野利英

- 財政状況の現状と将来見通しについて
- 廃校舎等の利活用について
- 林業政策について
- 商工観光行政について
- 川島城の活用について
- 保育料等の無償化について

一般質問

川村辰夫

- 太陽光発電設備への農地の転用について
- 国土強靱化基本計画の初改訂について
- 防災・減災について

岡田光男

- ごみの減量化について
- 場外小規模舟券売場について
- 徳島病院の存続について
- 国民健康保険税について
- 自衛官の募集について
- 森林経営管理法について
- アリーナ周辺整備について

桑原五男

- 新図書館の指定管理について
- 商店街の振興について
- 吉野川市商工会及び吉野川商工会議所について
- ふるさと納税について
- エディブルフラワー（食用花）の6次産業化について
- 移住・定住促進施策について
- 建築土木業者の育成について
- 児童虐待について

山添純二

- 水道施設の災害対策について
- 農地集積に係わる農業施策について
- 音声教材を活用した学習の取り組みについて

阿佐勝彦

- 来て観て住んで事業について
- 川島城の耐震工事について
- 山瀬小学校体育館の安全管理について

田村修司

- 選挙制度の改革について
- 敬老祝い金について
- インフルエンザ対策について
- 幼児教育の無償化について

相原一永

- 防災対策について
- 市民サービスの向上について
- 風疹の拡大防止について



河野利英（薫風会）

今後、健全財政を維持できるのか

（質問）

健全な財政運営に努め、魅力あふれる吉野川市再生に取り組む

（答弁）

◎質問
新年度の当初予算は3年連続で過去最高を更新している。普通交付税の合併算定替えが終了し、基金が減少傾向にある一方で、起債残高は平成31年度が過去最高になるとのことだが、合併による国の財政支援が終了するなか、今後、健全財政を維持できるのか。

◎政策監

合併以来、行財政改革大綱に基づく「行財

政改革実施計画」を着実に推進し、歳出削減への取り組みや市税等の収入確保、基金の造成・活用など、財源確保や適正な財政運営に努め、財政健全化比率は、国が示す基準以下となっている。

歳出においては、福祉政策や教育施設の充実、防災・減災対策の強化、道路・上下水道等のインフラ整備を進めている。

平成31年度当初予算については、平成29年

度からの3年間を「合併まちづくりの総仕上げ期間」として、有利な合併特例債等を最大限に活用し、こども園整備事業などの大型事業を集中的に進めたことにより、過去最大規模となっている。

今後の財政は、大型事業も一区切りつくことから、平成28年度以前と同程度の予算規模となる見込みだが、国の財政優遇措置が終了するなど、一般財源の縮小が避けられないなか、総合的・中長期的な視点に立った管理計画による公共施設の老朽化対策などの課題に対応していかなければならない。

こうした厳しい状況を認識し、一部事務組合による行政運営の見直しなど、歳出削減への取り組みも進めており、さらなる行財政改革の推進など健全な財政運営に努め、魅力あふれる吉野川市再生に取り組んでいきたい。

【その他の質問】

◎質問
廃校舎の利活用の進捗状況は。

◎副教育長

廃校舎は、川田・美郷地区に小学校6校、中学校1校、幼稚園は川田・美郷地区に5園、西麻植・学島地区に2園あり、利活用検討協議会等で協議している。

◎質問

森林環境譲与税を財源とする施策は。

◎産業経済部次長

森林の経営管理面積を増やすため、新たな森林管理システムの構築をめざす。

◎質問

中小企業支援の今後の方向性と観光協会のあり方は。

◎産業経済部長

本市の状況に応じた

支援施策を展開し、観光協会については、一旦解散し、観光推進組織へ再構築する。

◎質問

川島城の活用について、市の考えは。

◎産業経済部長

1年をかけて、様々な角度から検討する。

◎質問

保育料等の無償化に関わる給食費の取り扱いは。

◎健康福祉部長

様々な子育て支援施策の中で優先順位を付けて検討する。



本年4月に開園した鴨島東こども園

代表質問



原 五男
(志誠会)

中心市街地活性化についての
考えは (質問)

本市の状況を踏まえた
支援施策の着実な展開を図る (答弁)

◎質問
商店街を含む中心市街地活性化をどのように考え、商店街の未来をどのように描いているのか。

◎質問
辺地区都市再生整備計画を策定し、計画に基づき活性化施策をハード・ソフト両面で順次展開している。ソフト面では、街中の年間イベント開催数を、年15回から18回にすることを目標に掲げており、昨年10月には「わざわざ鴨島駅前に行こう」が地域の力を集結した民間の自発的な取り組みとして開催された。これは、アーリーナ・交流センター整備を契機に、地域が

◎産業経済部長
平成29年度に、アーリーナ・交流センター整備を核とし、商店街を含む中心市街地の活性化を図る「鴨島駅前

◎質問
盛り上がりを見せた結果であり、継続開催に向け、引き続き支援するとともに、新たな民間での取り組みにも、順次支援できるよう検討する。

◎質問
新図書館の指定管理は市内業者に出すべき

◎質問
エディブルフラワー(食用花)の種類と効果は。



ふるさと納税返礼品の入学米

◎教育次長
市内外を問わず、幅広く募集する。

◎質問
吉野川市商工会および商工会議所への補助金額と使途に対する市の関与は。

◎質問
建築土木業者の育成策は。

◎産業経済部長
商工会は567万円、商工会議所は100万円、使途について市は関与していない。

◎質問
ふるさと納税の活用状況の公表は。

◎質問
児童虐待の本市の状況と連携などの対応は。

◎産業経済部長
ホームページ等で公表する予定で、過去の使途についても分かりやすい形にリニューアルした。

◎健康福祉部長
過去3年間で30件から40件前後の発生を確認し、ほぼ横ばいの状態である。必要に応じて警察等の関係部署に情報提供を行い、連携を図っている。

◎市長
市内の中小企業者等の受注機会の増大に努めたい。

◎質問
その他の質問

◎政策監
種類はパンジーやナデシコで、栄養成分は一般的な野菜と同等以上含まれている。

◎市長
市内の中小企業者等の受注機会の増大に努めたい。

平成31年3月 議会定例会



田村 修司
(新進クラブ)

選挙制度の改革をしては

(質問)

可能性を模索し、適切な選挙事務の執行に努める

(答弁)

◎質問

選挙制度の改革について。

①本市は投票日が日曜日であるため、職員は深夜まで開票作業を担い、翌日は通常通り出勤して働いている。職員の負担軽減のため、投票を平日に実施できないか。
②開票結果が出るまで事務所で待つ支持者や開票作業にあたる職員の負担、そして翌日の仕事の効率や経費面を考えると、市長選挙

◎市民部長

①法律上は可能であるが、平日は市役所の通常業務があることや立会人等、住民の方の協力、また投票所として学校体育館の確保など、課題が多数あり、

および市議会議員選挙の開票作業は投票日の翌日にするべきでは。
③市長選挙のように候補者が少ない場合は、投票用紙の様式を現在の自書式から記号式へ変更できないか。

平日執行は難しい。

②法律上は可能であるが、投票箱の管理などの問題もあるため、選挙当日に災害などやむを得ない事情が生じない限りは、従来通り即日開票が望ましい。

③記号式投票の場合でも期日前投票などは自書式となることから、一つの選挙で両方が存在することは、市民の混乱や開票作業に余分に時間がかかる可能性があるため、従来通り自書式投票が望ましい。

◎再問

市長選挙に関する事務費用について。

①全体としていくらかかっているのか。
②そのうち職員の手当はいくらか。
③残業手当はいくらか。

◎市民部長

①平成28年度予算では、1,950万円となっている。

②職員手当は約566万円で、全体予算に占める割合はおおよそ29%である。

③選挙の事務に携わる職員への手当は、条例に基づき「特殊勤務手当」として支給され、選挙日が平日・休日のいずれであっても手当の額に変わりはなく、費用面で影響はない。

◎再々問

初めから「変えない」という観点で臨むのではなく「何が市民の利益か」という観点に立ち、ゼロベースで考えるべきではないか。

◎市長

指摘を真摯に受け止め、あらゆる可能性を模索し、適切な選挙事務の執行に努める。



【その他の質問】

◎質問

敬老祝い金の廃止や

縮小の計画はあるのか。

◎健康福祉部次長

今後の高齢者福祉施策の中で、見直し等を検討したい。

◎質問

本市の高齢者はインフルエンザ予防接種を他市の医療機関で受けると助成を受けることができないが、なぜ県医師会の広域化事業に参加しないのか。

◎健康福祉部長

事業に参加すると、個人負担金が300円増えるため市単独の方が有利と判断している。

◎質問

10月から幼児教育の無償化が始まるが、その時の対応は。

◎健康福祉部長

例年、途中入園の希望が出てくるため、職員確保を重点課題とし、希望者全員が入園できるように努める。

平成31年3月議会定例会

一般質問



川村 辰夫

川田川について、どのような堤防強化対策を県へ具申するのか
(質問)

堤防の点検・強化や地域の要望を県に伝えていきたい
(答弁)

◎質問

昨年12月14日に国土強靱化基本計画の初改訂が閣議決定された。防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策で、西日本豪雨や台風21号、大阪北部地震などを踏まえ、総事業費7兆円による計160項目をとりまとめた。

◎建設部長

異常堆積している土砂の撤去並びに水あたりの強い箇所(point)の点検・強化、地域の方からの要望を県に伝えていきたい。

【その他の質問】

◎質問

農地転用について、転用目的以外の転用が



山添 純二

農業コントラクター等を組織化する構想はあるのか
(質問)

農業の担い手の一つとして注視する
(答弁)

◎質問

本市の農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化や減少、後継者不足など、依然として厳しいものがあり、耕作放棄地の増加に歯止めがかからない現状がある。本市もこの状況を打開するために、担い手への農地集積の加速化、後継者の育成

◎産業経済部次長

農地中間管理機構は、農地を貸したい方と借りたい方の仲介をするための公的な機関である。

平成27年度から29年度までの本市の実績は、出し手については、平成27年度が35人で93筆86,786㎡、平成28年度が46人で



相原 一永

大規模災害時の避難所運営に対し、学校教職員も職員と一緒に協力すべきでは
(質問)

避難所運営を支援するよう指導したい
(答弁)

◎質問

大規模災害時の避難所運営に対し、市内小中学校の教職員の対応はどうするのか。

◎副教育長

各小中学校で作成している学校防災管理マニュアルに教職員も避難所運営支援にあたることと明記している。このマニュアルを全教職員に周知徹底するよう指示し、大規模災害時における避難所運営を支援するよう指導したい。



堤防強化対策が待たれる川田川

その中で、氾濫による甚大な人命被害が懸念され、堤防の強化やかさ上げなどを実施する河川に、国が管理する吉野川と県が管理する川田川が選ばれた。一方、地域の方からは「高水敷から上部天端までをコンクリートブロックで強化してほしい」「川田川上流の砂防ダムを新設してほしい」「吉野川の川田川河口付近から瀬詰大橋下流までを浚渫してほしい」との要望がある。本市は国や県に、どのような堤防強化対策を具申するのか。

あった場合、どのような指導をするのか。

○産業経済部次長

県や他市町村と連携しながら課題解決に向け対応策を模索する。

◎質問

災害対応用資機材としてドローンの導入は。

○防災局長

ドローンの有用性は高いと考えられ、導入について検討したい。

◎質問

国の補助制度を活用した大規模天井の耐震化は。

○副市長

限られた予算のなか災害時にそれぞれの施設が担うべき機能の継続性を確保できるよう順次整備を進める。

や新規就農者の確保、農産物のブランド化に取り組んでいる。

農地は、高齢化や労働力不足などにより所有者が営農できない場合は、農地中間管理機構を通して新たな担い手に引き受けてもらう方法があるが、本市の農地中間管理機構による農地の出し手と受け手の件数およびマッチングが成功した件数について、過去3年間の実績は。

また、今後、農地の出し手は増える一方で、受け手は限られていくと考えられる。

今後の農業を支えるためにも、機械銀行とは異なる形態で、農業機械と労働力などを有して農作業を請け負う農業コントラクター等を組織化するような構想はあるのか。

117筆92,837㎡、平成29年度が2人で10筆13,199㎡となっており、3か年合計は83人で220筆192,822㎡となっている。

受け手は、基本的にマッチングの実績と同じになり、マッチング成功実績は、平成27年度が3人で9筆10,177㎡、平成28年度が4人で12筆1,986㎡、平成29年度が2人で10筆13,199㎡となっており、3か年合計は9人で31筆35,362㎡となっている。

農業コントラクター等を組織化する構想については、現在考えていない。中四国地域の組織数は、59組織8.1%と少ないものの、今後の農業を支える担い手の一つの形態として注視していく。

取り組む必要がある。しかし、発災直後、防災担当部局がライフラインの寸断等で避難所運営が行えない場合、数日間には教職員が中心的役割を担う応急的な避難所運営組織を作り、避難所運営の協力を行うことが必要で、早期の学校再開や日常生活をいち早く取り戻すことにつながるかと考えている。

【その他の質問】

◎質問

死亡に関する各種手続きの*ワンストップ窓口を導入しては。

○市民部長

実施している自治体を調査し、市としてどのようなことを取り入れることが可能か、調査・研究する。

◎質問

風疹の拡大防止のため、どのように検査を促すのか。

○健康福祉部長

広報等を活用し、できるだけ多くの方に検査を受けていただけるよう努める。

*ワンストップ窓口

各窓口で行われる届出等の手続きが「1箇所」かつ「1回」で、重複することなく完了することができる。

平成31年3月議会定例会 一般質問



岡田 光男

徳島病院の存続を求める活動
に対して、市の考えは
(質問)

心強く思っており、
今後も強く要望したい
(答弁)

◎質問
近隣自治体では「徳島病院の存続を求める意見書」が全会一致で可決され、県議会においても3月8日「徳島病院の存続決議」が、可決される見通しとなっている。
そして、存続を求める署名は、5万4,600筆を超えたが、

◎環境局長
成功している自治体を参考に、本市の実状にあつた継続可能で有効的な制度の確立をめ

◎質問
ごみ減量化のための不用品交換を促す仕組み作りは。

【その他の質問】



阿佐 勝彦

川島城の耐震工事の財源に、
ふるさと納税を活用しては
(質問)

選択肢の一つと認識し、様々な可能性について探っていく
(答弁)

◎質問
川島城は耐震診断の結果により、当面立ち入りができなくなる。川島城は景観にも配慮し、東に向けては感動を与えるものがある。吉野川市のランドマーク的建造物であり、民間の力を借りるなどして保存していきたいとのことだが、城の中に

◎産業経済部長
平成29年度は、年間延べ7,400人で使用料収入は約160万円となっている。テニスコートは利用の多い状況に鑑み、こ

する場合はテニスコートも休館を受けた対応が必要になるが、利用状況や今後の方針は。

議会のうごき(12〜2月)

12月

- 10日 阿南市議会正副議長就任あいさつ来庁
- 20日 徳島中央広域連合議会12月定例会
- 21日 吉野川市高校生議会

1月

- 10日 鳴門市議会正副議長就任あいさつ来庁
- 11日 議会広報特別委員会
- 25日 三重県御浜町議会行政視察来庁

2月

- 8日 平成31年2月徳島県市町村議会議員公務災害補償等組合議云
- 13日 第36回徳島県市町村トップセミナー
- 13日 全国過疎地域自立促進連盟第137回理事会
- 14日 三重県伊賀市議会行政視察来庁
- 15日 市議会議員共済会第117回代議員会議会運営委員会
- 18日 議会運営委員会

こうした経過について市はどのように考えているのか。

○健康福祉部長

「徳島病院を守る会」の活動は、今後の国立病院機構の方針に影響を与えるものと考えている。

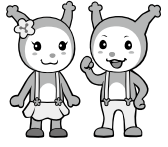
市としては、徳島病院の災害医療支援病院としての機能強化を図ることを求めると共に、存続を要望したい。

○再問

存続に対して、市の決意は。

○市長

国立病院機構に要望した存続の方針が、多くの人に受け入れられ、心強く思っている。今後も機会あるごとに強く要望していききたい。



ざしたい。

○質問

小規模場外舟券売場の設置は、断念すべきと思うが、市の対応は。

○総務部次長

自治会の同意を得ることは厳しいため、地域の状況をみながら鳴門市と協議していく。

○質問

国民健康保険税の子ども均等割の免除は。

○市民部長

現時点では困難と考える。

○質問

自衛官募集について、個人情報保護は。

○総務部次長

必要最小限の内容となるよう可能な限り配慮し、閲覧台帳を作成している。

入ることのできない状態が長期に渡るのはいかなるものかと思う。

また、民間の力を借りるとはいえ、財政的な問題もあることから、耐震工事の財源にふるさと納税を活用してはどうか。

○産業経済部長

川島城は、利用状況や耐用年数など総合的に勘案し、利用者の安全確保を優先して、4月以降は原則休館することに至った。

○再問

今後は、民間活力の導入など川島城のあり方について、1年をかけて多角的に検討したい。ふるさと納税の活用についても選択肢の一つであると認識し、様々な可能性について探っていく。

○再問

多くの市民が利用しており、川島城を休館

れまで通り利用を継続し、川島城の休館中は城山老人福祉センターでこれまで同様に予約や支払いができる体制を整える。

トイレについては、城山児童公園のトイレを一部洋式化し環境整備を行う。

今後の方針については、川島城の一体施設として検討したい。

「その他の質問」

○質問

山瀬小学校校体育館の改修は。

○副教育長

耐力度調査を実施し、安全確保対策を講じたい。



本年4月から休館となった川島城

行政視察受人状況

吉野川市では、全国の議会関係者からの行政視察を積極的に受け入れています。

- 平成31年2月14日（議員3名）
三重県伊賀市議会 自民党市議団
農地バンクについて



岸田 秀樹議員 逝去

謹んで御冥福をお祈りいたします

平成15年4月から鴨島町議会議員を1期、平成16年10月の町村合併後は市議会議員として5期、通算16年にわたり御活躍なされてこられた岸田秀樹議員（69歳）が平成31年2月13日に逝去されました。



議員在職中は、市議会副議長、総務常任委員会委員長、防災特別委員会委員長、議会運営委員会・総務常任委員会・産業建設常任委員会副委員長等を務められるなど、市政発展に御尽力くださいました。ここに謹んで哀悼の意を表し、御冥福をお祈りいたします。

平成31年3月議会定例会 審議結果一覧

	議案名	賛成 反対
選挙	- 阿北火葬場管理組合議会の議員選出について	指名推選
	- 阿北特別養護老人ホーム組合議会の議員選出について	指名推選
専決	報第1号 専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	報告受理
	報第2号 専決処分の報告について((仮称)鴨島東部地区認定こども園新築工事の変更請負契約の締結について)	報告受理
	報第3号 専決処分の報告について(和解について)	報告受理
条例	議第1号 吉野川市環境施設整備基金条例制定について	原案可決
	議第2号 吉野川市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例制定について	原案可決
	議第3号 吉野川市多目的グラウンド条例制定について	原案可決
	議第4号 吉野川市民プラザ条例制定について	原案可決
	議第5号 吉野川市中小企業者等振興基金条例制定について	原案可決
	議第6号 吉野川市中小企業者、小規模企業者及び小企業者の振興に関する基本条例制定について	原案可決
	議第7号 吉野川市表彰条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第8号 吉野川市行政組織条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第9号 吉野川市職員定数条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第10号 吉野川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第11号 吉野川市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第12号 吉野川市土地開発基金条例を廃止する条例制定について	原案可決
	議第13号 吉野川市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第14号 吉野川市公民館条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第15号 吉野川市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第16号 吉野川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第17号 吉野川市代替バス運送条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第18号 吉野川市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第19号 吉野川市簡易給水施設設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第20号 吉野川市保育所条例及び吉野川市立認定こども園条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第21号 吉野川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第22号 吉野川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
平成30年度補正予算	議第23号 平成30年度吉野川市一般会計補正予算(第5号)について	原案可決
	議第24号 平成30年度吉野川市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	原案可決
	議第25号 平成30年度吉野川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
	議第26号 平成30年度吉野川市介護保険特別会計補正予算(第4号)について	原案可決
	議第27号 平成30年度吉野川市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)について	原案可決
	議第28号 平成30年度吉野川市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
	議第29号 平成30年度吉野川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)について	原案可決
平成31年度当初予算	議第30号 平成31年度吉野川市一般会計予算について	原案可決
	議第31号 平成31年度吉野川市国民健康保険特別会計予算について	原案可決
	議第32号 平成31年度吉野川市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
	議第33号 平成31年度吉野川市介護保険特別会計予算について	原案可決
	議第34号 平成31年度吉野川市水道事業会計予算について	原案可決
	議第35号 平成31年度吉野川市下水道事業会計予算について	原案可決

市議会のしくみ

議員

議員は4年ごとに選挙によって選ばれます。現在の議員数は条例で20人と定めています。

議長と副議長

議長と副議長は議員の中から選ばれます。議長は議会を代表し、議場の秩序を保ち、会議を順序よく進めます。また、議会の事務を取りまとめること等の仕事をします。

副議長は、議長を助け、議長が欠けた時や病气や出張で不在の場合には、議長の代わりに仕事をします。

会派

会派は、市政についての考え方や意見の同じ議員が集まってつくる団体です。

本会議

本会議は、議員全員で議案・請願等を審議し、議会の最終意思を決定するために開かれる会議です。

定期的に関開く会議を定例会、必要に応じて開く会議を臨時会といひ、吉野川市では定例会を年4回(3月・6月・9月・12月)開いています。

委員会

議案・請願等は最終的には本会議で決められますが、専門的、効率的に審査するため、常任委員会と特別委員会が設置されています。

また、議会の運営が円滑に行われるよう、議事の順序や進め方等を協議する議会運営委員会が設置されています。

吉野川市には総務常任委員会、文教厚生常任委員会、産業建設常任委員会の3つの常任委員会があり、各常任委員会の所管については、委員会条例で定めています。

特別委員会は、必要に応じて、特定の事件を審査・調査するために設置されます。委員の任期は審査が終了するまでです。現在、議会広報特別委員会が設置されています。

市議会の権限

市議会には、吉野川市の意思を決定する機関として、いろいろな権限が与えられています。その主なものとして、次のようなものがあります。

議決権

条例の制定・改廃、予算の決定、決算の認定、重要な契約の締結など、市政の重要な事項について議決する権限をいいます。

選挙権

議長、副議長、選挙管理委員会委員などを選挙する権限をいいます。

同意権

副市長、教育長、監査委員、教育委員会委員、公平委員会委員などの選任について、同意を与える権限をいいます。

検査及び監査請求権

市議会が市の行政を監視する一つの方法で、市の事務が議決どおり執行されているかどうか検査したり、監査委員に監査を求めて監査の結果に関する報告を請求する権限をいいます。

調査権

市議会が市の事務に関する調査を行う権限をいいます。

意見書提出権

市議会が市の公益に関することからについて、国などの関係機関に対し意見書を提出する権限をいいます。

請願受理権

市民の要望や意見を市の行政に反映させるため、市民から提出された請願書を受け付け、審議し、処理する権限をいいます。

旬感 よしのがわ

吉野川市特産の洋人参の出荷が最盛期を迎えました。

本市では、温暖な気候と吉野川の流れが運んだ砂壤土からなる沖積平野という恵まれた地域条件を生かし、洋人参の栽培が盛んです。

3月中旬から5月中旬にかけて、農家では洋人参の出荷作業が続きます。



クイズ



■吉野川市山川地区の地名です。読みを答えてください。

- ① 忌部
- ② 馬見尾
- ③ 山路
- ④ 諏訪
- ⑤ 祇園
- ⑥ 横走
- ⑦ 御饌免
- ⑧ 皆瀬

● 正解者の中から抽選で10名様に吉野川市ブランド認証品を進呈します。

● 応募要項 はがき、またはFAXに答えて郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局へお送りください。応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか。

● 送り先 〒776-8611 吉野川市議会事務局
● 締切日 令和元年6月30日(消印有効)

チョットひと言

★ 今回のクイズは本当に手こずりました。

(鴨島町 井上さま)

★ 当時の運動会の地区別の名前もあり、懐かしい気持ちになりました。

(鴨島町 山田さま)

★ 地名は難しい、考えて考えて書きました。

(川島町 加本さま)

(前回の解答)

- ① 春日原 (かすがばら)
- ② 風呂谷 (ふろのたに)
- ③ 神後 (じんご)
- ④ 源光寺 (げんこうじ)
- ⑤ 蓮池 (はすいけ)
- ⑥ 前池ノ北 (まえいけきた)
- ⑦ 伊加々志 (いかかぎし)
- ⑧ 芝生 (しばう)

【応募総数】6通

あとがき

今年、4月30日に天皇陛下が退位され、皇太子殿下が即位されるのに伴い、元号が令和に代わります。そして、11月14日から15日にかけて宮中で大嘗祭が挙行されるそうです。この大嘗祭において、古くから阿波忌部が麻の織物である

祭服を調整・供納する役割をしており、今回も地元住民の有志により、阿波忌部の歴史と伝統に鑑み、木屋平で育てた麻を用いて山川町にある山崎忌部神社で織り上げ、伝承文化の継承、地域の活性化と文化の振興に寄与する思いから「阿波忌部祭服調進協議会」を発足させ活動を始めたそうです。

吉野川市内の山崎忌部において、天皇が代わる度に遥か昔から、重要な宮中行事を執り行う一翼を担ってきた地域住民の方々に敬意を表したいと思えます。私は、このように格式ある貴重な行事を地域の活性化のため、観光等に役立てることはできないかと、ふと考えてしまいました。昨年からは今年にかけて、市内各地で地域住民の方が自ら企画したイベントが開催され、多くの来場者があり、にぎわいを深めていると聞きました。地域住民の方の協力、中心となる方の企画力・実行力が評価できると思います。

本年も観光力の強化のため、新しくイーストとくしま観光推進機構を中心とした観光推進組織を作り、観光事業関係者で組織する者連絡会議を設置することであり、大いに期待しているところです。

【編集委員】

- 委員長 福岡 正
- 副委員長 岡田 光男
- 委員 河野 利英
- 乗原 五男
- 近久 善博
- 山添 純二